

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2021年2月8日

**【四半期会計期間】** 第111期第3四半期(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

**【会社名】** 株式会社椿本チェーン

**【英訳名】** T S U B A K I M O T O C H A I N C O .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大 原 靖

**【本店の所在の場所】** 大阪市北区中之島三丁目3番3号

**【電話番号】** (06) 6441-0011 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務部長 小 西 洋 二  
(連絡場所) 京都府京田辺市甘南備台一丁目1番3号  
(電話番号) (0774) 64-5001

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区港南二丁目16番2号

**【電話番号】** (03) 6703-8400

**【事務連絡者氏名】** 東京支社総務担当参事 宮 内 真 澄

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第110期 第3四半期 連結累計期間	第111期 第3四半期 連結累計期間	第110期
会計期間	自 2019年 4月1日 至 2019年 12月31日	自 2020年 4月1日 至 2020年 12月31日	自 2019年 4月1日 至 2020年 3月31日
売上高 (百万円)	169,139	137,531	226,423
経常利益 (百万円)	13,310	5,956	16,698
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	9,623	5,120	11,576
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	9,930	5,451	8,423
純資産額 (百万円)	177,550	178,125	176,055
総資産額 (百万円)	301,479	298,994	294,098
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	255.51	138.33	308.71
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	58.4	59.0	59.3

回次	第110期 第3四半期 連結会計期間	第111期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年 10月1日 至 2019年 12月31日	自 2020年 10月1日 至 2020年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	83.86	54.84

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～12月31日）における当社グループの事業環境は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、海外においては様々な国や地域で都市封鎖（ロックダウン）が実施されるなど、世界的に景気が減速しました。

わが国においても、緊急事態宣言の発出に伴う活動の自粛や個人消費の減少などにより、景気が大幅に悪化しました。

海外のロックダウンや国内の緊急事態宣言の解除後は、各国の緊急経済対策などを下支えに国内外とも持ち直しの動きがみられるようになりましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大により先行き不透明感が強まるなど、予断を許さない状況が続いています。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の受注高は133,756百万円（前年同期比23.6%減）、売上高は137,531百万円（同18.7%減）となりました。

損益につきましては、営業利益は4,301百万円（同65.9%減）、経常利益は5,956百万円（同55.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,120百万円（同46.8%減）となりました。

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、「あるべき姿（グローバルトップ企業）」の実現に向けて、引き続き市場ニーズに徹底対応した商品開発やモノづくり、グループ総合力を生かしたビジネスの拡大に取り組み、持続的成長力を強化していきます。

なお、セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

当社グループの全ての報告セグメントが、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けました。

#### [チェーン]

チェーンにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋、中国、韓国・台湾の各地域で販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、チェーンの受注高は44,281百万円（前年同期比9.1%減）、売上高は43,127百万円（同12.5%減）、営業利益は5,075百万円（同18.9%減）となりました。

#### [精機]

精機につきましては、日本、米州、欧州、中国、タイにおいて販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、精機の受注高は13,812百万円（前年同期比21.0%減）、売上高は14,248百万円（同19.0%減）、営業利益は619百万円（同65.3%減）となりました。

#### [自動車部品]

自動車部品につきましては、日本、米国、英国、タイ、中国、韓国、メキシコの各拠点においてエンジン用タイミングチェーンシステムの販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、自動車部品の受注高は40,590百万円（前年同期比24.3%減）、売上高は40,577百万円（同24.4%減）、営業利益は1,682百万円（同61.8%減）となりました。

#### [マテハン]

マテハンにつきましては、日本国内において自動車業界向けシステムの売上が増加しましたが、日本国内における物流業界向けシステムや新聞印刷工場向けシステム、金属切り屑搬送・クーラント処理装置の販売が減少したことなどから、前年同期比で減収となりました。

以上により、マテハンの受注高は32,860百万円（前年同期比38.4%減）、売上高は37,455百万円（同19.5%減）となりました。損益につきましては、米州における自動車業界向けシステムの工事費用が増加したことなどにより2,175百万円の営業損失（前年同期は902百万円の営業利益）となりました。

#### [その他]

その他の受注高は2,211百万円（前年同期比15.6%増）、売上高は2,122百万円（同1.8%増）、損益については272百万円の営業損失（前年同期は7百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して4,895百万円増加し、298,994百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が5,498百万円減少した一方で、現金及び預金が9,734百万円増加したこと、電子記録債権が2,756百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して6,412百万円増加し、140,496百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価上昇などにより投資有価証券が4,016百万円増加した一方で、償却などにより有形固定資産が4,230百万円減少したこと、無形固定資産が1,126百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して1,517百万円減少し、158,498百万円となりました。

#### (負債)

負債は、賞与引当金が1,667百万円減少したこと、未払法人税等が1,404百万円減少した一方で、借入金が増加した2,047百万円増加したこと、前受金や未払費用等の増加によりその他の流動負債が1,751百万円増加したこと、繰延税金負債等の増加によりその他の固定負債が1,156百万円増加したこと、電子記録債務が903百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して2,826百万円増加し、120,869百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、為替の変動により為替換算調整勘定が2,537百万円減少した一方で、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が2,782百万円増加したこと、利益剰余金が1,782百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して2,069百万円増加の178,125百万円となり、自己資本比率は59.0%となりました。

(3) 会計上の見積りおよび当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積りおよび当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(4) 優先的に対処すべき事業上および財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上および財務上の課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3,157百万円であります。

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動の状況の重要な変更は、次のとおりであります。

2020年4月1日付で、新ビジネスおよび研究開発の機動性を高めるため、開発・技術センターを新事業開発と技術・研究開発に分割いたしました。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産高が118,742百万円（前年同期比21.0%減）、受注高が133,756百万円（同23.6%減）、販売高が137,531百万円（同18.7%減）となり、著しく減少しております。

これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界経済が急速に減速し、自動車産業をはじめとした当社の主要顧客の生産および設備投資需要が減少していることから、受注等が減少したことによるものであります。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,800,000
計	59,800,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2021年2月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	38,281,393	38,281,393	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式 単元株式数 100株
計	38,281,393	38,281,393	—	—

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### ① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年10月1日～ 2020年12月31日	—	38,281	—	17,076	—	12,671

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

2020年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 1,265,600	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 36,912,700	369,127	—
単元未満株式	普通株式 103,093	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	38,281,393	—	—
総株主の議決権	—	369,127	—

② 【自己株式等】

2020年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社椿本チェーン	大阪市北区中之島三丁目3-3	1,265,600	—	1,265,600	3.31
計	—	1,265,600	—	1,265,600	3.31

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

なお、当社は執行役員制度を導入しており、前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における執行役員の異動は次のとおりであります。

役職の異動

氏名	新役職名	旧役職名	異動年月日
佐藤 功	執行役員 自動車部品事業統括 海外経営管理統括	執行役員 自動車部品事業統括 海外企画管理担当	2020年10月1日
井上 幸三	執行役員 自動車部品事業統括 自動車部品事業部長 兼 同事業部 生産統括 兼 同事業部 エンジニアリング・マーケティング統括 兼 同統括 CS技術部長 兼 兵庫工場長	執行役員 自動車部品事業統括 自動車部品事業部長 兼 同事業部 CS技術部長 兼 兵庫工場長	2020年10月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年10月1日から2020年12月31日まで)および第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,019	38,754
受取手形及び売掛金	45,699	※4 40,201
電子記録債権	11,346	※4 14,102
有価証券	3,965	3,967
商品及び製品	18,369	18,050
仕掛品	12,268	12,205
原材料及び貯蔵品	9,639	9,798
その他	4,547	4,145
貸倒引当金	△773	△729
流動資産合計	134,083	140,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,246	31,233
機械装置及び運搬具（純額）	38,982	37,589
工具、器具及び備品（純額）	4,613	3,899
土地	37,513	37,457
建設仮勘定	5,224	4,169
有形固定資産合計	118,579	114,348
無形固定資産		
のれん	2,773	2,432
その他	8,587	7,802
無形固定資産合計	11,361	10,234
投資その他の資産		
投資有価証券	22,240	26,256
その他	7,954	7,772
貸倒引当金	△119	△113
投資その他の資産合計	30,074	33,914
固定資産合計	160,015	158,498
資産合計	294,098	298,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,374	※4 16,590
電子記録債務	9,656	※4 10,559
短期借入金	12,893	13,615
1年内返済予定の長期借入金	4,246	625
未払法人税等	1,696	292
賞与引当金	3,952	2,285
工事損失引当金	249	803
受注損失引当金	367	309
営業外電子記録債務	1,976	※4 1,870
その他	14,667	※4 16,419
流動負債合計	67,081	63,371
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	9,369	14,315
役員退職慰労引当金	117	120
退職給付に係る負債	13,529	13,946
資産除去債務	430	444
その他	12,514	13,670
固定負債合計	50,961	57,497
負債合計	118,043	120,869
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	13,563	13,565
利益剰余金	149,487	151,269
自己株式	△4,253	△4,230
株主資本合計	175,873	177,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,551	11,334
繰延ヘッジ損益	17	△8
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	1,178	△1,358
退職給付に係る調整累計額	△647	△564
その他の包括利益累計額合計	△1,513	△1,210
非支配株主持分	1,695	1,654
純資産合計	176,055	178,125
負債純資産合計	294,098	298,994

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	169,139	137,531
売上原価	123,380	104,652
売上総利益	45,758	32,878
販売費及び一般管理費	33,135	28,576
営業利益	12,623	4,301
営業外収益		
受取利息	93	85
受取配当金	1,005	774
その他	530	1,491
営業外収益合計	1,629	2,351
営業外費用		
支払利息	286	241
その他	656	455
営業外費用合計	942	696
経常利益	13,310	5,956
特別利益		
受取保険金	—	870
固定資産売却益	—	314
特別利益合計	—	1,184
特別損失		
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	13,307	7,141
法人税、住民税及び事業税	3,036	1,907
法人税等調整額	585	57
法人税等合計	3,621	1,965
四半期純利益	9,685	5,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,623	5,120

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	9,685	5,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,464	2,782
繰延ヘッジ損益	△30	△25
為替換算調整勘定	△2,276	△2,562
退職給付に係る調整額	105	83
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△2
その他の包括利益合計	244	275
四半期包括利益	9,930	5,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,984	5,423
非支配株主に係る四半期包括利益	△53	28

**【注記事項】**

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の当社グループへの影響は2021年3月期の第3四半期頃まで続くものと仮定しておりました。

当第3四半期末におきましては、収束時期等を予測することが依然困難な状況ではありますが、一部の需要は回復傾向にあることなど現時点で入手可能な情報を基に重要な会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は不確実性が大きく、経営環境が変化した場合には、見積りの内容と事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

## 1 保証債務

関係会社の借入金および従業員の住宅借入金に対する債務の保証額は、次のとおりであります。

## (1) 関係会社

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
天津東椿大気塗装輸送系統設備 有限公司	364百万円	371百万円

## (2) 従業員

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
	16百万円	13百万円

## 2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
	15百万円	－百万円

## 3 電子記録債権割引高および電子記録債権譲渡高

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
電子記録債権割引高	7百万円	206百万円
電子記録債権譲渡高	－百万円	644百万円

※4 期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
受取手形	－百万円	990百万円
支払手形	－百万円	198百万円
流動負債その他（設備関係支払手形）	－百万円	59百万円

また、債権債務の一部については、手形と同様の期日条件で現金決済する方法によっておりますので、上記の四半期連結会計期間末日満期手形と同様に、四半期連結会計期間末日が決済日であるものが四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
売掛金	－百万円	170百万円
電子記録債権	－百万円	2,769百万円
買掛金	－百万円	952百万円
電子記録債務	－百万円	2,101百万円
営業外電子記録債務	－百万円	248百万円
流動負債その他（未払金）	－百万円	154百万円

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
減価償却費	9,550百万円	9,382百万円
のれんの償却額	135百万円	211百万円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	2,271	60.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金
2019年10月31日 取締役会	普通株式	2,270	60.00	2019年9月30日	2019年12月3日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2019年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式840,000株の取得を行っております。この自己株式の取得等の結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が3,203百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,251百万円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	2,220	60.00	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金
2020年10月30日 取締役会	普通株式	1,110	30.00	2020年9月30日	2020年12月2日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	49,299	17,589	53,656	46,506	167,053	2,085	169,139	—	169,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,501	457	—	291	2,250	577	2,828	△2,828	—
計	50,801	18,047	53,656	46,798	169,304	2,663	171,967	△2,828	169,139
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	6,256	1,783	4,410	902	13,354	△7	13,346	△722	12,623

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△722百万円には、セグメント間取引消去54百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△777百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	精機	自動車 部品	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	43,127	14,248	40,577	37,455	135,408	2,122	137,531	—	137,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,169	218	—	332	1,720	539	2,259	△2,259	—
計	44,297	14,467	40,577	37,787	137,128	2,661	139,790	△2,259	137,531
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	5,075	619	1,682	△2,175	5,201	△272	4,929	△627	4,301

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△627百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△657百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。



(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	255円51銭	138円33銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	9,623	5,120
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	9,623	5,120
普通株式の期中平均株式数(千株)	37,662	37,013

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2020年10月30日開催の取締役会において、第111期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の中間配当を行うことを決議しました。

中間配当金総額	1,110,473,790円
1株当たり中間配当額	30.0円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年12月2日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。